

作成 年 月 日

構造計算等 注文書 記入見本

ご依頼日ご記入ください

キダテ設計事務所 行

埼玉県本庄市児玉町高柳260
TEL 0495-72-9568
FAX 0495-72-9588(設計課)
E-Mail:info@kidate.co.jp

直取引の場合記入不要です。請求先が別にある場合ご記入いただきます。

ご請求時の宛先、担当者様となります。又、作業中変更等で追加が発生した場合、仮でご請求書をお送りし、金額の相談をさせていただきますので、その時の連絡先の記入となります。正式の請求書は社印の入ったものを郵送させていただきます。

商社名 : _____
担当者名 : _____
住所 : _____
TEL : _____
FAX : _____
E-Mail : _____

依頼社名 : ○○設計事務所
依頼者名 : △△ △△
住所 : 東京都東京区東京1-1-1
TEL : **-****-****
FAX : **-****-****
E-Mail : *****@CO.jp

以下記載物件の構造計算又はN値計算を別紙『物件概要書』『設計図書(図面)』等を添えて注文します。

物件名 : ○○ ○○ 様邸

支払条件 : 売買契約書による

納期 : 別途打合せ

工法	注文内容	当該欄に丸をつけてください	特記事項(金物工法等)	発注金額(税込)	備考
木造軸組工法	2階建	N値計算			
		N値計算(壁量計算書)			
		構造計算			
	3階建	構造計算	○	1部金物工法(テックワン)	¥300,000
性能評価サポート費用					

在来工法・1部金物工法・金物工法のどれかを記入ください。又、金物工法の場合使用金物を忘れずに、ご記入ください

対応可能金物
・タツミ テックワン、クラレック
・北陸テクノ HS、HSS
・トステム TS金物
他は、設計資料をいただきます。
(他の金物の場合、施工上のルールはお客様の方でご確認をお願いします。)

E-Mailによる結果送付(PDF)ご希望のお客様 ① _____ ② _____ ③ _____ @ _____

当社設計料金をご記入いただくか、事前に見積もりをしている場合見積もり金額をご記入ください。

上記とは別に実際に業務を担当する方が別にいる場合ご記入ください。

- 注) ・『2階建・構造計算』は、壁量チェック、偏芯率チェック、N値計算の計算結果出力となります。
 ・『N値計算』は、N値計算結果のみの検討とさせていただきます。
 ・『3階建構造計算』は、『構造計算ルート1』のみの対応とさせていただきます。
 ・1棟(2階建、3階建)延床面積200㎡以下を基準としております。それを超えるものにつきましては追加が発生いたします。
 ・プランにより、より安全側の検討をするため床面積の相違が出る場合がございます。
 ・物件の外観形状等によりお受けできない場合がございます。
 ・在来金物工法(金物メーカー等)については別途お打合せ申し上げます。
 ・意匠プラン変更(軽微な変更は該当しない)の場合は新規取り扱いとさせていただきます。
 ・軽微な変更は3回を原則とし、以後1回当たり追加が発生いたします。
 ・ご希望により図面はdxfにてお渡しいたします。確認申請に必要な図面は確認申請の設計者様にてお願いいたします。
 ・地盤調査結果に基づいた地耐力の指示をお願い申し上げます。

物件概要書

安全な構造設計を行うため、必要な情報です。お手数をおかけいたしますが以下の各項目について、必ず全てご記入お願い申し上げます。(又は他の書類で下記項目が記載されているりください。)また、確認申請提出後の数値変更は再計算になりますので、別途費用が発生(検査機関による訂正等の再計算は無償です。)

業務の窓口をする方をご記入ください。(営業・設計・工事・他、関係者がいると思いますが【一物件・窓口は1人をお願いいたします】)

貴社名	〇〇設計事務所						
担当者名	□□ □□□						
物件名	◎◎ ◎◎様邸新築工事				申請時の名称 と同じ表記と してください		
地名地番	□□県□□市□□町1丁目-1-1						
建築主様	◎◎ ◎◎						
代理者※	資格	1級建築士	都道府県知事・大臣	登録第	11111号	氏名:	■ ■ ■ ■
	建築士事務所名	〇〇〇〇設計事務所			東京知事登録第(2)	22222号	
〒111-1001	所在地	東京都東京区東京3-3-3		電話番号	**-****-1234		
設計者※	資格	2級建築士	都道府県知事・大臣	登録第	3333号	氏名:	□ □ □ □ □
	建築士事務所名	〇〇設計事務所			東京知事登録第(2)	4444号	
〒111-1111	所在地	東京都東京区東京1-1-1		電話番号	**-****-****		

確認申請時に使用する名称をご記入ください

注:住居表示は記入しないでください

代願事務所が別にある場合記入してください。検査機関などで質疑等があった場合、記入していませんと間違いメール(FAX)だと判断し処理してしまいます。又、個人情報保護法によりお答えできません。

連名等ある場合、かならずご記入ください

※項目については確認申請書(第1~5面)の写しの添付お願い申し上げます。
 ※構造計算書・構造図以外の帳票については特記欄にてご指示お願い申し上げます。

依頼内容の確認 当該箇所の□→■に塗りつぶしてください

は じ め に	最新の各階平面図・立面図・矩計図(寸法がはっきり分かるもの)・付近見取図・地盤調査結果(地耐力がはっきり分かるもの)の送付お願い致します。 地盤調査結果によらない場合(想定、仮など)は、『設計者』の承認をもって有効とさせていただきます。
	住宅の品質確保促進法 による住宅性能表示制度を利用されますか? □はい □いいえ
	『構造の安定に関する事』の等級指定があればご指示お願い致します。
	耐震等級(倒壊・損傷のしにくさ) □ 1 □ 2 □ 3
	耐風等級 □ 1 □ 2
耐積雪等級(多雪区域のみ) □ 1 □ 2	

この項目は未記入でもOKですが、後からご希望される場合、計算内容が著しく変更しますので、追加料金が発生する場合があります。ご注意ください。

注)プランにより『性能表示制度』等級基準を満たせない場合がございます。ご了承ください

各高さ等の確認

ご記入お願い致します。 別紙矩計図記入の場合省略可

建築物の規模	設計GL	GL~土台天端(基礎高400+パッキン20+土台120)	高さ	床厚	建築面積	100 m ²
	基礎高(設計GL~土台上端)	540mm	84mm	床面積	1階床面積	90 m ²
	1階階高(1階土台上端~2階梁上端)	2900mm	40mm		2階床面積	80 m ²
	2階階高(2階梁上端~3階梁上端)	2800mm	40mm		3階床面積	70 m ²
	3階階高(3階梁上端~小屋梁上端)	2700mm	40mm	ロフト・小屋裏	15 m ²	
	最高高さ	2F:厚合板28+フロア-12	9990mm	屋根	延床面積	255 m ²
	軒高		8940mm		軒の出	60 cm 勾配 4 / 10
				妻の出	30 cm 勾配 3 / 10	

1F:床厚は梁(土台)天端からの高さ(根太60+下地合板12+フロア-12)根太半落込みなどは注意が必要となります

ロフトや小屋裏収納の床厚を記入欄です

通り芯(桁芯)~の寸法(樋は含みません)又、複数ある場合は立面図にてご指示ください。

当該箇所の□→■に塗りつぶしてください

直接基礎	地耐力	(30) kN/m ²	注1)地盤調査結果に基づくご指示お願い致します。		
	地盤種別	<input type="checkbox"/> 第1種地盤 <input checked="" type="checkbox"/> 第2種地盤 <input type="checkbox"/> 第3種地盤			
	地盤調査方式	<input checked="" type="checkbox"/> S.S方式 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 調査方法名			
	地盤調査状況	<input type="checkbox"/> 調査済 <input checked="" type="checkbox"/> 既存解体後調査 <input type="checkbox"/> その他			
	形状	<input checked="" type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎	基礎幅	150 mm	
	立上り寸法	設計GL+ 400 mm	ベース厚又はスラブ厚	150 mm	
	根入れ	設計GL- 250 mm	べた基礎スラブ天端高さ GL+	50 mm	
	地業上端(スラブ下端)寸法	人通り寸法(有効開口)		W(600mm) × H(350mm)	
	基礎パッキン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用 20 mm <input type="checkbox"/> 使わない <input type="checkbox"/> 換気口(mm) × H(mm)			
	鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD-295A 施工可能鉄筋最大径 <input type="checkbox"/> その他			
コンクリート	<input type="checkbox"/> Fc=18N/mm ² <input checked="" type="checkbox"/> その他 21 N/mm ²				

基本は一律とさせていただきます。その他の場合は地盤調査会社様とご相談ください。(申請機関からの質疑応答は設計者様・代理者様の方でご回答ください。)

地盤調査会社にご確認ください

申請機関によります
①地盤調査報告書が無ても、申請が降りますが(中間・完了)検査時には必要となります。
②地盤調査報告書がないと確認が下りません。

有効開口寸法をご記入ください(計算上の開口幅は有効幅600+基礎幅150の750が芯々寸法となります)

基礎内部の仕上がり高さ

申請用の書類に記入いたしますので、調査方法ご記入ください

設計基準強度です。品質基準強度は設計強度+3としています。

検査機関により申請書類の作成方法が違います。又、計算上の質疑を問い合わせる為です。

注)配筋は計算結果によりご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。

杭地業の検討は弊社では出来ません。ご了承ください。

コンクリートの強度は『設計基準強度』となります。

注1)地盤調査結果による『設計者』の承認をもって有効とさせていただきます。

当該箇所の□→■に塗りつぶしてください

申請予定審査機関	ハウスプラス東京支店	TEL 03-5777-1416
防火指定	<input type="checkbox"/> 準防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 22条地域 <input type="checkbox"/> その他	
風圧	地表面粗度区分	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input checked="" type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV
	基準風速	<input type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 32 <input checked="" type="checkbox"/> 34 <input type="checkbox"/> 36 <input type="checkbox"/> 38 <input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> 42 <input type="checkbox"/> 46
積雪	区域	<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域 <input type="checkbox"/> 多雪区域
	垂直積雪量	30 cm
	凍結深度	GLより- なし cm

・建設地を管轄している行政にご確認ください。(建築指導課等にお問い合わせください【H12・5・31建設省告示第1454号】特定行政庁が規則で定める数値)

・基準風速
・積雪量
・凍結震度も合わせてご確認ください。同じ窓口で確認できます。

注) 特定行政庁等の建築確認申請機関へご確認の上ご記入ください。再計算の対象となり別途費用が発生する場合がございます。

不明の場合 仮で計算)地表面III 風速34 積雪30cm 凍結なし にて算定します。

該当仕上箇所にて○又は数値を記入してください

建築基準法施工令84条(固定加重)以外の重量設定の場合ご記入ください。

注)特記無き場合、建築基準法に準じた弊社基準による荷重設定とさせていただきます。準耐火構造・防火構造等ご計画の場合ボード等の厚みの変更はご注意ください

部位・仕上げ種類						
屋根仕上げ	(メーカー・商品名)	単位重量N/m ²	1F	2F	3F	該当する階に○をつけてください。屋根断熱がある場合、材料名厚みを記入してください。
瓦葺き		720				
彩色石綿板	スレート	380	○		○	
金属瓦葺		220				
屋根断熱材	グラスウール				100	
その他						
その他	雪止有		北のみ		全面	

瓦 600
野地 80(t=12)
ルーフィング 10
垂木30(45×60@455)

部位・仕上げ種類						
天井仕上げ	(メーカー・商品名)	単位重量N/m ²	1F	2F	3F	該当する階に○をつけてください。小屋断熱がある場合○をつけてください。
P.B+クロス 厚み	9.5	100				
P.B+クロス 厚み	12.5	130	○	○	○	
P.B+クロス 厚み	15	160				
断熱材 厚み	グラスウール	2	50	50		
軒天材 厚み	ケイ軽板 t=15	120	○		○	
その他						
その他						

勾配天井の場合

スレート 260(6mm)
野地 80(t=12)
ルーフィング 10
垂木30(45×60@455)

部位・仕上げ種類							
床仕上げ	(メーカー・商品名)	単位重量N/m ²	1F	2F	3F	小屋裏	組み合わせ選択となります。該当する階に○をつけてください。Ln音シート
仕上	フローリング 厚み	12	○	○	○	○	
	タタミ仕上 厚み	190		○			
下地	FRP防水+下地	グラス石膏 t=15	30+150		○		
	合板下地 厚み	12	○				
	合板下地 厚み	24	160		○	○	
	合板下地 厚み	28	190				
	ボード下地 厚み	9.5			○	○	
	モルタル(タイル含む)	1mm当り	20		30		
その他	床暖房 12	80	○	○			
その他							

金属板 100
野地 80(t=12)
ルーフィング 10
垂木30(45×60@455)

吸音材などを施工する場合

石膏ボード
9.5mm 90
12.5mm 120
15mm 150
+クロス10 としております

部位・仕上げ種類						
外壁	(メーカー・商品名)	単位重量N/m ²	1F	2F	3F	該当する階に○をつけてください。外断熱がある場合その他の欄に断熱と書いて○をつけてください。タイル貼りは組み合わせとなります。
タイル貼						
鉄網モルタル 厚み	30	310				
ALC板 厚み	37	300				
サイディング 厚み	16	200	○	○	○	
その他	タイル+ベースサイディング	500	○			
その他	外断熱 グラスウール		75	75	75	

準防火地域などで施工される場合

バルコニーで防火被覆として使用する場合など

部位・仕上げ種類						
内壁	(メーカー・商品名)	両面仕上	1F	2F	3F	該当する仕様に○をつけてください。PB2重貼、胴縁仕様はその他設定に組み合わせを書いてください。同一階での仕分けは出来ません。(界壁
P.B+クロス	9.5	200				
P.B+クロス	12.5	260	○	○	○	
P.B+クロス	15	320				
その他設定値	界壁12.5 2重	500	○			
その他	タイル	片面 200		○		

その他として遮音シート・CFシートなどありますが影響があまり無いものは記入不要です。

部位・仕上げ種類						
断熱材	(メーカー・商品名)	単位重量N/m ²	床	壁	天井	該当するヶ所に厚みを記入してください
グラスウール 厚み	1mm当り	0.2		75	100	
ロックウール 厚み	1mm当り	0.4				
その他設定値	ポリスチレンフォーム	0.25	30			
その他設定値						
その他設定値						
その他						

タイル貼りの場合下地の仕様も忘れずにご記入ください

数値は(ボード+クロス10)×2両面なので

既製品バルコニー	注)内容をご記入お願い致します。 受梁240以上必要 など
バルコニー重量(kg)	kg又は N
最大積載荷重(kg)	kg又は N 最大積載荷重(kg) 150kg

エレベーターは基礎の施工図も合わせてメーカーよりお取り寄せください

建築基準法施工令85条(積載荷重)以外の設定の場合ご記入ください。			
床積載荷重	一般居室	1800 N/m ²	バルコニー(ルーフバルコニー)等ご指定荷重ありましたらご記入ください
	車庫・倉庫	5500 N/m ²	
	その他		
	その他		
床補強等の積載荷重	U.B(満水時 650kg または 6500N)		
	ピア・仏壇・本棚・水槽等・ホームエレベーター・ソーラーパネル (200Kg又は N)		
	その他		

ソーラーパネルは W()×D()1枚当たり○○kg 15枚使用
又は m²当り○○kg (この場合屋根伏せ図に施工範囲面積が分かる物を送付して下さい。)

ホームエレベーターにつきましては、メーカーと打合せ可能な情報の提供をお願いいたします。

使用材料

ご記入お願い致します。

部 位	樹 種	等 級	工 法		備考	
			在 来	金 物		
材 質	材 種	材 種	材 種	材 種	材 種	
横 架 材 柱	土 台	ハイマツ	甲種2級	120	120	インサイジング処理
	大 引	米ヒバ	無等級	105	105	防腐
	梁 桁	ハイマツ	〃	105	105	
	母 屋	〃	〃	90~105	90~105	@1365以下とする
	棟 木	〃	〃	105	105	
	隅 木	〃	〃	90	90	
	1 階	WW	E95-F315	105	105	
	2 階	〃	〃	〃	〃	
	3 階	〃	〃	〃	〃	
	隅 柱	RW	E105-F300	120	120	
等 下	通 し 柱	〃	〃	〃	〃	(WW EW 105X105)
	階 段 柱	〃	〃	〃	〃	(WW EW 105X105)
	小 屋 束	ハイマツ	無等級	90~105	90~105	母屋、桁巾に合せる
	吊・地束	不要				
	1 階 根 太	ハイツガ	無等級	45	60	@303
	2 階 根 太	—				
	3 階 根 太	—				
	小 屋 裏 根	—				
	1 階 床 合	針葉樹	特類2級	12		根太転がし
	2 階 床 合	〃	〃	24		四周釘打ち使用
地	3 階 床 合	〃	〃	24		四周釘打ち使用
	小 屋 裏 床	〃	〃	24		四周釘打ち使用
	野 地 板	〃	〃	12		
	垂 木	ハイツガ	無等級	45	60	@455
	筋 交 い	—		45	90	内部に使用
	面 材 耐 力 壁	構造用合板	特類2級	9	2.5倍	外周のみ
	面 材 耐 力 壁					
等	火 打 ち 梁	金物	Z品			

1部金物使用の場合、使用箇所をご指示ください。
(プレカット図でわかるものは不要)
・通し柱の胴差部
・出隅柱の柱脚部
・360以上の梁
など

注)特1等・1等は強度の名称ではありません

ベイヒバNG. 正アラスカイロースター
輸入材は正式名称を記載して下さい。
強度等級が明確でない材は、調べていただくか、変更していただきます。

WW(ホワイトウッド) NG
正:スプルース

RW NG
正:オウシュウアカマツ

けらば落し
梁中間部のスリーブ穴
などの検証は計算より除外します。

上記、指示無き場合は、表内()の材料にて対応させていただきます。
目的 下地用の材料は入力いたしませんのでご了承下さい。(妻部の登り梁、地吊、吊束など)
プランにより外周の耐力壁が構造用合板+筋交の場合がございます。
面材耐力壁に認定品をご使用の場合は、メーカー、商品名をご指示お願いいたします。

告示以外の仕様で建材メーカーで出している面材耐力壁は倍率等ご指示下さい。
又、合わせて確定書はお客様の方でご用意下さい。
注)施工条件により倍率の変わる材料があります。
又防火認定の有無は別ですのでご注意ください。

特 記 事 項

梁成は300以上は集成材とし最大390まででおさえる

キダテ設計事務所からのお知らせ

確認申請に必要な図面は確認申請の設計者様にてお願い申し上げます。
ご希望により図面はdxfにてお渡し出来ます。ご指示お願い申し上げます。

その他指示等ご記入ください

キダテ設計事務所

(株式会社 篠原商店 第二工場内)

〒367-0224

埼玉県本庄市児玉町高柳260

TEL 0495-72-9568

FAX 0495-72-9588